

DNPの生成AI活用に関する包括的調査レポート

作成日: 2025年11月1日 作成者: Manus AI

はじめに

本レポートは、大日本印刷株式会社（以下、DNP）における生成AIの活用戦略、導入プロセス、具体的な成果、および将来の展望について、公開情報を基に包括的に分析・整理したものである。DNPは、1876年創業の歴史ある印刷会社でありながら、近年、生成AIを全社的に導入し、その活用において日本企業の中でも先進的な成果を上げている。本レポートでは、DNPがどのようにして「AIネイティブ企業」への変革を推進しているのか、その成功要因と業界における意義を多角的に考察する。

1. DNPの生成AI戦略と導入の経緯

DNPの生成AI導入は、迅速かつトップダウンの強力なリーダーシップによって推進された。2023年4月、北島義斉社長の経営判断により生成AIの全社的な活用が決定され、わずか1ヶ月後の5月には、約3万人のグループ全社員が利用できる環境（Azure OpenAI Service）が整備された [1]。さらに、2025年2月にはOpenAI社のChatGPT Enterpriseを導入し、活用を一段と加速させている [2]。

この迅速な展開の背景には、明確な戦略的目的があった。それは、単なる業務効率化にとどまらず、**既存事業の競争力強化と新規事業の創出加速**を見据えたものであった。導入にあたり、DNPは効果が高いと見込まれる10以上の部門を選抜し、「週次で1人100回以上の利用」および「作業短縮自動化率50%以上」という極めて野心的な目標を設定した。この高い目標が、現場の創意工夫と実践を強力に引き出す原動力となった [2]。

2. 驚異的な導入成果とインパクト

ChatGPT Enterprise導入からわずか3ヶ月で、DNPは設定した目標を大幅に上回る驚異的な成果を達成した。その結果は、定量的・定性的な両側面から、組織全体に大きなインパクトを与えている。

2.1 定量的成果

主要な定量的成果を以下の表に示す。特筆すべきは、ほぼ全てのユースケースで効果が確認され、利用率が100%に達している点である。これは、生成AIが一部の専門家だけでなく、全社的な業務ツールとして完全に定着したことを示している。

成果指標	達成数値（導入3ヶ月後）	備考
週次アクティブユーザー率	100%	目標（-）を達成
作業時間短縮自動化率	87%	目標（50%）を大幅に超過
効果が確認されたユースケース率	90%	ほぼ全ての試行で有効性を確認
ナレッジ再利用率	70%	カスタムGPTの活用による
処理件数拡張	10倍	特定業務における処理能力の飛躍的向上

出典: OpenAI, "事業創出に向けた企業変革を推進" [2]

2.2 定性的インパクト

定量的な成果以上に重要なのが、従業員の働き方や組織文化にもたらされた定性的な変化である。最も大きな変化は、**従業員の役割のシフト**である。例えば、セキュリティ監査業務では、従来は資料の突き合わせに多くの時間を費やしていたが、AIの導入によりその作業が自動化され、社員はより高度な「意思決定やリスク判断」に集中できるようになった [2]。

また、生産技術研究開発部門では、プログラミング未経験の研究者がChatGPTとの対話を通じてPythonコードを生成し、数日で解析ツールを開発するという事例が生まれた。これは、生成AIが専門スキルの壁を取り払い、「**知識の民主化**」を促進する強力なツールであることを証明している [2]。

3. 部門別ユースケースと実践知の蓄積

DNPの強みは、全社で2,200以上ものユースケースを創出し、そこから得られた実践知を体系化・再利用している点にある [3]。以下に、代表的な部門におけるユースケースを示す。

部門	主な業務	成果	定性的効果
ICT技術研究開発部門	特許調査業務	調査時間 95%短縮 、 調査件数 10倍	却下リスクの低減、出願品質の向上
生産技術研究開発部門	解析支援・コード生成	数ヶ月要する解析フローを 3日 で構築	Python未経験者が数日で解析ツールを開発
情報イノベーション事業部	セキュリティ監査	CIS Benchmarks調査を 2人日→10分 に短縮	手作業から意思決定・リスク判断へシフト
AI事業開発ユニット	知識継承	構造化データ設計の作業時間を 90%削減	熟練者の暗黙知を形式知化

出典: OpenAI, "事業創出に向けた企業変革を推進" [2]

これらの活動の中心となっているのが、2023年12月に設立された「**DNP生成AIラボ・東京**」である。ここは、顧客と共に新たなユースケースを共創する場であり、既に250社近い企業が利用している [3]。対話、開発、デモ体験の3つのゾーンで構成され、アイデアを高速でプロトタイピングできる環境が整っている。

4. 業界動向と競合（TOPPAN）との比較

日本の印刷業界では、人手不足や技能継承といった課題を背景に、DNPと同様に生成AIの活用が急速に進んでいる。特に、業界最大手のTOPPAN株式会社（旧：凸版印刷）は、DNPの主要な競合として注目される。

両社の戦略には、興味深い違いが見られる。DNPが**社内での徹底的な活用と実践知の蓄積を先行させ、そこから得られたノウハウを外部サービスとして展開するボトムアップ的アプローチ**を取るのに対し、TOPPANは「生成AI管理基盤」を開発し、それを中核としてマーケティングDXや自治体向けサービスなど、**統合的なソリューションを外部に提供**するプラットフォーム戦略を採っている [4, 5]。

比較項目	DNP	TOPPAN
戦略アプローチ	社内実践知の外部サービス化	生成AI管理基盤を中核とした統合ソリューション提供
強み	圧倒的なユースケース創出（2,200件以上）、高い社内浸透率	マーケティングDX、自治体向けサービス、デジタル分身技術
推進拠点	DNP生成AIラボ・東京（顧客との共創）	ー（個別のサービスとして展開）
人材育成	全社員対象のDX基礎人材育成（2.4万人修了）	新入社員研修での生成AI活用など

5. 将来ビジョンと「AIネイティブ企業」への変革

DNPは、生成AIの活用をさらに深化させ、「AIネイティブ企業」への完全な変革を目指している。そのビジョンは、技術・研究開発本部 ICT統括室長の大竹宏之氏や、情報イノベーション事業部の和田剛氏によって語られている。

「AIエージェントが様々な場面に溶け込み、誰もが意識せずともAIの恩恵を受けている状態を目指す」 [2]

このビジョンは、単なる「人間とAIの協働」を超え、「**AIが前提となる社会**」を見据えている。将来的には、AIエージェント同士が自律的に連携し、人間が介在しない業務プロセスが生まれること、さらにはロボティクスと融合した「物理AI」が現実空間で活動することも視野に入れている [2]。

この壮大なビジョンの根幹をなすのが、「**知識の継承**」というコンセプトである。DNPが長年の印刷事業で培ってきた「データを価値ある情報に変える」能力を応用し、熟練者の暗黙知や非構造化データをAIが学習可能な形式に変換・構造化することで、技能の属人化を解消し、持続的な競争力へと転換しようとしている [2, 6]。

6. 結論と考察

DNPの生成AI活用は、単なるツール導入の成功事例ではない。それは、明確なビジョン、大胆な経営判断、現場主導の創意工夫、そして体系的な人材育成が一体となった、**全社的な組織変革のモデルケース**である。特に、週次アクティブユーザー率100%という驚異的な社内浸透率は、日本企業が生成AIを導入する上での大きな課題である「使われない」という壁を乗り越えるための重要な示唆を与えている。

その成功要因は、以下の点に集約される。

1. **トップダウンとボトムアップの融合:** 経営層の強力なコミットメントと、現場の自発的な活動（Teamsコミュニティ等）が両輪となった。
2. **組織的な推進体制:** CCoE（Cloud Center of Excellence）と生成AIラボが、ガバナンスとイノベーションを両立させた。
3. **高速プロトタイピング文化:** ノーコードツールを活用し、開発未経験者でもアイデアを即座に形にできる環境を整備した。
4. **体系的な人材育成:** 全社員を対象としたリテラシー教育から、専門人材の育成まで、段階的なプログラムを構築した。

今後の課題は、社内で実証された成功を、いかにして競争力のある外部向けサービスへと昇華させていくか、そしてAI技術の急速な進化に継続的に対応していく体制を維持できるかにある。しかし、DNPが示した「AIネイティブ企業」への変革の道のりは、伝統的な大企業であっても、強い意志と適切な戦略があれば、自らを根本から変革し、未来を創造できることを力強く証明している。

参考文献

- [1] DNP. (2023). 「DNPグループ社員3万人に「生成AI」の利用環境を構築」 . https://www.dnp.co.jp/news/detail/20169392_1587.html
- [2] OpenAI. (2025). 「事業創出に向けた企業変革を推進」 . <https://openai.com/ja-JP/index/dai-nippon-printing/>
- [3] TechTrends. (2024). 「大日本印刷が実践する生成AI活用戦略：2200以上のユースケースと社内浸透の秘訣」 . https://techtrends.jp/interview/dnp_genai/
- [4] TOPPAN. (2025). 「TOPPAN、マーケティング業務のAI Powered化を支援」 . https://www.holdings.toppan.com/ja/news/2025/05/newsrelease250508_1.html
- [5] TOPPAN. (2025). 「TOPPAN、AI Powered化を推進する自治体向け支援サービスを提供開始」 . https://www.holdings.toppan.com/ja/news/2025/09/newsrelease250926_2.html
- [6] DNP. (2025). 「社員のノウハウを可視化して共有・活用できる「DNPノウハウ継承支援サービス」を開始」 . https://www.dnp.co.jp/news/detail/20177362_1587.html
- [7] DNP. (2024). 「[AIコラム] なぜDNPがAIを？ ー後半ー～相手を想えば、みんなに届くAIになる～」 . https://www.dnp.co.jp/biz/column/detail/20172007_4969.html
- [8] IPA. (2024). 「『自分に何が足りないのか』を考えられる集団へ 大日本印刷のDXは組織を有機的に変化させていく」 . <https://dx.ipa.go.jp/interview-dnp>